

新市建設計画新旧対照表

頁	新	旧
表紙	<p>平成16年12月 笠懸町・大間々町・東村合併協議会</p> <p>平成26年12月 みどり市</p>	<p>平成16年12月 笠懸町・大間々町・東村合併協議会</p>
3	<p>I 序論</p> <p>2 計画策定の方針</p> <p>(3) 計画の期間</p> <p>この計画の期間は、平成17年度から平成<u>32年度</u>までの<u>16年間</u>とします。</p>	<p>I 序論</p> <p>2 計画策定の方針</p> <p>(3) 計画の期間</p> <p>この計画の期間は、平成17年度から平成<u>26年度</u>までの<u>10年間</u>とします。</p>
4	<p>3 新市の概況</p> <p>(図下) <u>※平成26年12月現在の隣接市町村は、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、佐野市、鹿沼市、日光市の7市となっています。</u></p>	<p>3 新市の概況</p>
5	<p>3 新市の概況</p> <p>(2) 土地利用</p> <p>土地利用の推移を見ると、各地目において大きな変化はありません。田、畑、山林、原野、雑種地が減少し、宅地が増加しています。</p> <p><u>図表：土地利用の推移 平成20年及び平成25年の数値を追加</u></p>	<p>3 新市の概況</p> <p>(2) 土地利用</p> <p>土地利用の推移を見ると、各地目において大きな変化はありません。田、畑、山林、原野、雑種地が<u>わずかに</u>減少し、宅地が増加しています。</p>
6	<p>(3) 人口と世帯</p> <p>新市を構成する笠懸町、大間々町、東村の人口を国勢調査で見ると、合計では平成2年から<u>22年</u>までは緩やかな増加傾向を示しています。町村別では、笠懸町は増加していますが、大間々町と東村は減少傾向にあります。</p> <p>世帯数についても、<u>合計</u>では一貫して増加傾向にあります。1世帯あたりの人口の平均は減少傾向にあり、人口の増加とともに核家族化の傾向がうかがえ</p>	<p>(3) 人口と世帯</p> <p>新市を構成する笠懸町、大間々町、東村の人口を国勢調査で見ると、合計では平成2年から<u>12年</u>までは緩やかな増加傾向を示しています。町村別では、笠懸町は増加していますが、大間々町と東村は<u>若干の</u>減少傾向にあります。</p> <p>世帯数についても、一貫して増加傾向にあります。1世帯あたりの人口の</p>

	<p>ます。</p> <p>年齢3区分別人口では年少人口が徐々に減少し、老年人口が増加しており、少子高齢化の現象が現れていることが分かります。</p> <p><u>図表：総人口の推移 平成17年及び平成22年の数値を追加</u></p> <p><u>図表：総世帯数の推移 平成17年及び平成22年の数値を追加</u></p>	<p>平均は減少傾向にあり、人口の増加とともに核家族化の傾向がうかがえます。</p> <p>年齢3区分別人口では年少人口が徐々に減少し、老年人口が増加しており、少子高齢化の現象が現れていることが分かります。</p>
7	<p><u>図表：年齢3区分別人口の推移 平成17年及び平成22年の通知を追加</u></p> <p>(4) 産業</p> <p>産業別就業人口では、就業者総数は平成7年に増加したものの、12年には減少しています。第1次産業においては、平成2年から<u>22年</u>の間に2,078人から<u>1,270人</u>へと<u>39%</u>程度減少しています。第2次産業も平成2年から22年の間に<u>26%</u>程度減少し、第3次産業が増加傾向にあります。</p> <p><u>図表：産業別就業人口の推移 平成17年及び平成22年の数値を追加</u></p>	<p>(4) 産業</p> <p>産業別就業人口では、就業者総数は平成7年に増加したものの、12年には減少しています。第1次産業においては、平成2年から<u>12年</u>の間に2,078人から<u>1,568人</u>へと<u>30%</u>程度減少しています。第2次産業が<u>わずかに減少</u>し、第3次産業が増加傾向にあります。</p>
8	<p>①農業</p> <p>農業においては、農家総数が著しい減少傾向にあり、農業就業人口も平成2年から<u>22年</u>までの<u>20年間</u>で2,726人から<u>1,228人</u>へと<u>55%</u>減少しています。農業産出額では、<u>全てにおいて減少</u>しています。</p> <p><u>図表：農業就業人口と農家数の推移 平成17年及び平成22年の数値を追加</u></p> <p>(図表下) <u>※平成17年世界農林業センサスより自給的農家に対する簡略調査については、廃止となったため、専業農家及び兼業農家の数値が空欄となっております。</u></p> <p><u>図表：農業産出額の推移 平成17年の数値を追加</u></p> <p>(図表下) <u>※平成18年度より推計単位が都道府県に変更となり、市町村別の調査は実施していません。</u></p>	<p>①農業</p> <p>農業においては、農家総数が著しい減少傾向にあり、農業就業人口も平成2年から<u>12年</u>までの<u>10年間</u>で2,726人から<u>1,766人</u>へと約4割減少しています。兼業農家において特にこの傾向が目立ち、この10年間で、約半減しています。</p> <p>農業産出額では、<u>米、麦、野菜、工芸作物、畜産、養蚕</u>において減少し、<u>花き</u>において増加しています。平成12年の農業産出額は群馬県内11市中、<u>第3番目に位置</u>します。</p>

<p>9</p>	<p>②商業</p> <p>商業においては、商店数、従業者数及び年間商品販売額は平成3年から11年まで大きく増加しましたが、平成14年には減少に転じています。<u>商店数は、平成3年から平成24年までの間に769店舗から480店舗へと38%減少しています。</u></p> <p>図表：商店数などの推移 平成16年、平成19年及び平成24年の数値を追加 (図表下) 商業統計調査、経済センサス</p> <p>③工業</p> <p>工業では、事業所数が平成10年までは、増加していましたが、その後減少しています。従業者数は平成8年から<u>24年の16年間で、5,472人から3,630人へと34%減少しています。</u></p> <p>製造品出荷額等は年々増加していましたが、<u>平成14年より減少し、平成20年は増加しましたが、その後、減少傾向にあります。</u></p> <p>図表：事業所数などの推移 平成16年、平成18年、平成20年、平成22年及び平成24年の数値を追加</p>	<p>②商業</p> <p>商業においては、商店数、従業者数及び年間商品販売額は平成3年から11年まで大きく増加しましたが、平成14年には減少に転じています。</p> <p>(図表下) 商業統計調査</p> <p>③工業</p> <p>工業では、事業所数が平成10年までは、増加していましたが、その後減少しています。従業者数は平成8年から<u>14年の6年間で減少傾向にあり、約2割減の4,638人となっています。</u>製造品出荷額等は年々増加していましたが、<u>平成14年は減少しています。</u></p>
<p>10</p>	<p>④観光</p> <p>平成<u>25年度</u>観光客入込み数が最も多い施設は貴船神社で、<u>461,000人</u>となっており、初詣に多くの人々が訪れます。草木ダム周辺の観光施設では、富弘美術館に<u>111,356人</u>、サンレイク草木に<u>41,409人</u>、など観光客で賑わいます。また、鍾乳洞や親水公園のある小平の里は<u>134,305人</u>、高津戸峡周辺は<u>99,500人</u>で、利用者の大半が地域住民であることが推測されるかたくりの湯の入込み数は<u>129,243人</u>となっています。</p> <p>図表：観光客入込み数の状況 平成17年度、平成20年度、平成23年度及び平</p>	<p>④観光</p> <p>平成<u>14年度</u>観光客入込み数が最も多い施設は貴船神社で、<u>503,000人</u>となっており、初詣に多くの人々が訪れます。草木ダム周辺の観光施設では、富弘美術館に<u>251,794人</u>、サンレイク草木に<u>131,690人</u>、など観光客で賑わいます。また、鍾乳洞や親水公園のある小平の里は<u>162,000人</u>、高津戸峡周辺は<u>107,000人</u>で、利用者の大半が地域住民であることが推測されるかたくりの湯の入込み数は<u>141,568人</u>となっています。</p>

	<p><u>成 25 年度の数値を追加</u></p> <p>(図表下) <u>市観光課調べ</u></p> <p>注 1) 岩宿の里 (かたくりさくらまつり) は平成 8 年から開催。</p> <p>2) かたくりの湯は平成 9 年に開館。</p> <p>3) ひまわり花畑は平成 1 2 年から入込み数の調査を開始。</p> <p><u>平成 2 2 年から集計方法を変更 (イベント開催時のみの集計から、ひまわり開花期間の集計へ)。</u></p>	<p>(図表下) <u>町村観光課調べ</u></p> <p>注 1) 岩宿の里 (かたくりさくらまつり) は平成 8 年から開催。</p> <p>2) かたくりの湯は平成 9 年に開館。</p> <p>3) ひまわり花畑は平成 1 2 年から入込み数の調査を開始。</p>
11	<p>4 主要指標の見通し</p> <p>(1) 将来人口の想定</p> <p><u>国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口 (平成 2 5 年 3 月推計)」によると、平成 2 2 年の人口を境に減少に転じ、平成 3 2 年には 49,846 人と推計され、人口が減少に転じることが予測されています。</u></p> <p><u>図表：人口の想定 平成 26 年を平成 27 年に改め、平成 32 年の数値を追加 (図表下)</u></p> <p><u>※平成 12 年から平成 22 年は、国勢調査 (実績)</u></p> <p><u>※平成 27 年、平成 32 年は、国立社会保障・人口問題研究所資料 (平成 25 年 3 月推計)</u></p> <p>(2) 世帯数の想定</p> <p>世帯数は、増加が続いており、平成 1 2 年以降も人口増や核家族化の進行などによって増えることが予想されます。特に平均世帯人員の減少は 3.0 人を<u>下回り</u>、平成 3 2 年には <u>18,844 世帯</u>、平均世帯人員 <u>2.7 人</u>と想定することができます。</p> <p><u>図表：世帯数の想定 平成 26 年を平成 27 年に改め、平成 32 年の数値を追加</u></p>	<p>4 主要指標の見通し</p> <p>(1) 将来人口の想定</p> <p><u>平成 7 年、1 2 年の国勢調査の人口をベースにしたコーホート要因法による人口推計を基礎に、平成 2 6 年の新市の将来人口を 53,000 人と想定します。</u></p> <p><u>最近 1 0 か年のこの地域の人口増加を見ると、笠懸町は人口増加の傾向を、大間々町は緩やかな減少傾向を、東村は減少傾向を見せています。</u></p> <p><u>平成 2 6 年は現在の人口より若干の増加となります。</u></p> <p>(2) 世帯数の想定</p> <p>世帯数は、増加が続いており、平成 1 2 年以降も人口増や核家族化の進行などによって増えることが予想されます。特に平均世帯人員の減少は将来 3.0 人を<u>下回ると予想されることから</u>、平成 2 6 年には <u>19,000 世帯</u>、平均世帯人員 <u>2.8 人</u>と想定することができます。</p>

12	<p>(3) 就業人口の想定</p> <p>産業別の就業人口は、平成12年以降第1次産業就業者が大きく減少し、第2次産業就業者が漸減を続け、第3次産業就業者が増加する傾向を見せています。</p> <p>今後もこの傾向は続くと予想され、平成<u>32年</u>は、第1次産業就業者が<u>1,013人</u>となり、第2次が<u>6,648人</u>、第3次が<u>16,975人</u>となると想定されます。</p> <p><u>図表：就業人口の想定 平成26年を平成27年に改め、平成32年の数値を追加</u></p>	<p>(3) 就業人口の想定</p> <p>産業別の就業人口は、平成12年以降第1次産業就業者が大きく減少し、第2次産業就業者が漸減を続け、第3次産業就業者が増加する傾向を見せています。</p> <p>今後もこの傾向は続くと予想され、平成<u>26年</u>は、第1次産業就業者が<u>1,000人</u>以下となり、第2次が約<u>10,000人</u>、第3次が<u>16,000人強</u>となると想定されます。</p>
20	<p>II 新市建設の基本方針</p> <p>4 新市まちづくりへの取り組み</p> <p>図：地域整備方針図</p> <p><u>実線 北関東自動車道</u></p>	<p>II 新市建設の基本方針</p> <p>4 新市まちづくりへの取り組み</p> <p>図：地域整備方針図</p> <p><u>破線 北関東自動車道（構想・計画等）</u></p>
21	<p>5 新市創造戦略プラン</p> <p>図：新市創造戦略プラン</p> <p><u>実線 北関東自動車道</u></p>	<p>5 新市創造戦略プラン</p> <p>図：新市創造戦略プラン</p> <p><u>破線 北関東自動車道（構想・計画等）</u></p>
22	<p>(1) 新市の道づくりプラン</p> <p>①新市を元気にするアクセス道路づくり</p> <p>○北関東自動車道<u>太田藪塚インターチェンジ</u>アクセス道路の整備を促進します。</p> <p>(略)</p>	<p>(1) 新市の道づくりプラン</p> <p>①新市を元気にするアクセス道路づくり</p> <p>○北関東自動車道（仮称）<u>藪塚インターチェンジ</u>アクセス道路の整備を促進します。</p> <p>(略)</p>

25	<p>Ⅲ 新市建設の主要施策</p> <p>1 健やかに生きる安心のまちづくり（保健・医療・福祉分野）</p> <p>（1）保健・医療の充実</p> <p>生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせるまちづくりを目指して、保健・医療・福祉の連携を図り、さまざまな角度から住民の健康づくりを支援できる仕組みづくりに努めます。</p> <p>一人ひとりが自らの健康をつくるという考えのもとに、疾病に対する正しい知識の普及や<u>各種検診（健診）</u>の充実を図り、健康に関する啓発活動、支援に努めます。</p>	<p>Ⅲ 新市建設の主要施策</p> <p>1 健やかに生きる安心のまちづくり（保健・医療・福祉分野）</p> <p>（1）保健・医療の充実</p> <p>生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせるまちづくりを目指して、保健・医療・福祉の連携を図り、さまざまな角度から住民の健康づくりを支援できる仕組みづくりに努めます。</p> <p>一人ひとりが自らの健康をつくるという考えのもとに、疾病に対する正しい知識の普及や<u>各種検診</u>の充実を図り、健康に関する啓発活動、支援に努めます。</p>
	<p>（3）高齢者福祉の充実</p> <p>高齢者が安心していきいきと暮らせるよう、高齢者福祉サービスの拡充を図り、相談・支援体制の強化、介護保険制度や<u>後期高齢者医療制度</u>の充実に努めます。また、社会参加を含めた生きがいつくり、住環境対策など総合的な高齢者福祉の仕組みを確立します。</p> <p>高齢者が地域のなかで安心して暮らせるように、家庭や地域福祉団体、関係機関などとの連携を強化していきます。</p>	<p>（3）高齢者福祉の充実</p> <p>高齢者が安心して<u>生き生き</u>と暮らせるよう、高齢者福祉サービスの拡充を図り、相談・支援体制の強化、介護保険制度や<u>老人保健医療制度</u>の充実に努めます。また、社会参加を含めた生きがいつくり、住環境対策など総合的な高齢者福祉の仕組みを確立します。</p> <p>高齢者が地域のなかで安心して暮らせるように、家庭や地域福祉団体、関係機関などとの連携を強化していきます。</p>
	<p>（5）児童福祉の充実</p> <p>安心して子育てができ、子供たちが健やかに育つ環境をつくるため、子育てを支援する体制の充実と施設の整備を進めます。また、子育てに関する地域での協力体制づくりや交流の場づくりに努めます。</p> <p>すべての児童を心身ともに健全に育成するため、親の社会進出の増加などに伴う保育所への入所希望者の増加や保育ニーズの多様化に対応できるよう、体制とサービス内容の充実に努めます。</p> <p>経済的負担が大きい保護者に対し、<u>福祉医療</u>や児童手当をはじめ諸手当制度の普及促進を図り、経済的負担の軽減に努めます。</p>	<p>（5）児童福祉の充実</p> <p>安心して子育てができ、子供たちが健やかに育つ環境をつくるため、子育てを支援する体制の充実と施設の整備を進めます。また、子育てに関する地域での協力体制づくりや交流の場づくりに努めます。</p> <p>すべての児童を心身ともに健全に育成するため、親の社会進出の増加などに伴う保育所への入所希望者の増加や保育ニーズの多様化に対応できるよう、体制とサービス内容の充実に努めます。</p> <p>経済的負担が大きい保護者に対し、<u>乳幼児医療・福祉医療費</u>や児童手当をはじめ諸手当制度の普及促進を図り、経済的負担の軽減に努めます。</p>

28	<p>2 潤いある快適なまちづくり（生活環境分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="185 256 1090 456"> <thead> <tr> <th>施策名</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環型社会の創造</td> <td>(略) ・ <u>不法投棄対策事業</u> (略)</td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	循環型社会の創造	(略) ・ <u>不法投棄対策事業</u> (略)	<p>2 潤いある快適なまちづくり（生活環境分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="1182 256 2087 456"> <thead> <tr> <th>施策名</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環型社会の創造</td> <td>(略) ・ <u>不法投棄防止体制整備事業</u> (略)</td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	循環型社会の創造	(略) ・ <u>不法投棄防止体制整備事業</u> (略)
施策名	事業名									
循環型社会の創造	(略) ・ <u>不法投棄対策事業</u> (略)									
施策名	事業名									
循環型社会の創造	(略) ・ <u>不法投棄防止体制整備事業</u> (略)									
30	<p>3 個性と文化を育むまちづくり（教育・文化分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="185 614 1090 813"> <thead> <tr> <th>施策名</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児教育・学校教育の充実</td> <td>(略) ・ <u>幼稚園・小中学校施設整備事業</u> (略)</td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	幼児教育・学校教育の充実	(略) ・ <u>幼稚園・小中学校施設整備事業</u> (略)	<p>3 個性と文化を育むまちづくり（教育・文化分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="1182 614 2087 813"> <thead> <tr> <th>施策名</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児教育・学校教育の充実</td> <td>(略) ・ <u>小中学校施設整備事業</u> (略)</td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	幼児教育・学校教育の充実	(略) ・ <u>小中学校施設整備事業</u> (略)
施策名	事業名									
幼児教育・学校教育の充実	(略) ・ <u>幼稚園・小中学校施設整備事業</u> (略)									
施策名	事業名									
幼児教育・学校教育の充実	(略) ・ <u>小中学校施設整備事業</u> (略)									
31	<p>(4) 道路整備</p> <p>新市の発展にとって道路整備は重要な事業であり、<u>国道50号前橋笠懸道路</u>、<u>北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路</u>の整備を促進します。また、地域間道路網の確立を図るとともに、都市計画道路の整備を進め、安全性や景観に考慮した、人に優しく、快適な道路づくりに努めます。</p>	<p>(4) 道路整備</p> <p>新市の発展にとって道路整備は重要な事業であり、<u>国道50号バイパス</u>、<u>北関東自動車道(仮称)藪塚インターチェンジアクセス道路</u>の整備を促進します。また、地域間道路網の確立を図るとともに、都市計画道路の整備を進め、安全性や景観に考慮した、人に優しく、快適な道路づくりに努めます。</p>								

32	<p>4 安全で利便性あるまちづくり（社会基盤分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="197 248 1115 496"> <thead> <tr> <th data-bbox="197 248 495 300">施策名</th> <th data-bbox="495 248 1115 300">事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="197 300 495 496">道路整備</td> <td data-bbox="495 300 1115 496"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号前橋笠懸道路整備促進事業（略）</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	道路整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号前橋笠懸道路整備促進事業（略）</li> </ul>	<p>4 安全で利便性あるまちづくり（社会基盤分野）</p> <p>【主な事業】</p> <table border="1" data-bbox="1180 248 2098 496"> <thead> <tr> <th data-bbox="1180 248 1406 300">施策名</th> <th data-bbox="1406 248 2098 300">事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1180 300 1406 496">道路整備</td> <td data-bbox="1406 300 2098 496"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道（仮称）藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号バイパス整備促進事業（略）</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	施策名	事業名	道路整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道（仮称）藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号バイパス整備促進事業（略）</li> </ul>
施策名	事業名									
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号前橋笠懸道路整備促進事業（略）</li> </ul>									
施策名	事業名									
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道（仮称）藪塚インターチェンジアクセス道路 整備促進事業</li> <li>・国道50号バイパス整備促進事業（略）</li> </ul>									
33	<p>5 にぎわいと活力あるまちづくり（産業分野）</p> <p>（1）農林業の振興</p> <p>食の安全や地産地消など消費者とタイアップした時代が要請する農産物の生産を進めます。</p> <p>森林の適正な管理のため、林道などの基盤整備を進めながら、地場産材の利活用や原木椎茸・きのこ類などの林産物、山菜などの副産物を活用した林業経営を推進しながら、森林の体験や観光・交流関連の利用を進めます。</p> <p>（2）商工業の振興</p> <p>北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路、<u>国道50号前橋笠懸道路</u>を活用しての企業誘致を推進し、経済の活性化を目指します。</p> <p>（3）観光の振興</p> <p>住民に教育文化的活用や交流・憩いの場として利用されている富弘美術館、岩宿遺跡、<u>西鹿田中島遺跡</u>、岩宿の里、草木湖、要害山や高津戸峡、ながめ公園（余興場）、小平の里などを観光・交流の地域資源として活用していきます。</p> <p>また、新市の自然そのものを観光資源として位置づけ、歴史文化資源と結びつけ新しい観光ルートの設定やイベントの開催による魅力の創出に努めます。</p>	<p>5 にぎわいと活力あるまちづくり（産業分野）</p> <p>（1）農林業の振興</p> <p>食の安全や地産地消など消費者とタイアップした時代が要請する農産物の生産を進めます。</p> <p>森林の適正な管理のため、林道などの基盤整備を進めながら、地場産材の利活用や<u>椎茸原木</u>・きのこ類などの林産物、山菜などの副産物を活用した林業経営を推進しながら、森林の体験や観光・交流関連の利用を進めます。</p> <p>（2）商工業の振興</p> <p>北関東自動車道（仮称）藪塚インターチェンジアクセス道路、<u>国道50号バイパス</u>を活用しての企業誘致を推進し、経済の活性化を目指します。</p> <p>（3）観光の振興</p> <p>住民に教育文化的活用や交流・憩いの場として利用されている富弘美術館、岩宿遺跡、岩宿の里、草木湖、要害山や高津戸峡、ながめ公園（余興場）、小平の里などを観光・交流の地域資源として活用していきます。</p> <p>また、新市の自然そのものを観光資源として位置づけ、歴史文化資源と結びつけ新しい観光ルートの設定やイベントの開催による魅力の創出に努めます。</p>								



36	<p>7 新市における群馬県事業の推進</p> <table border="1" data-bbox="185 204 1108 644"> <thead> <tr> <th data-bbox="185 204 506 256">主 な 事 業</th> <th data-bbox="506 204 1108 256">事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="185 256 506 400">治山・治水事業</td> <td data-bbox="506 256 1108 400"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川流域調節池整備事業</li> <li>(利根川支川) 早川 火山砂防事業</li> <li>(略)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="185 400 506 644">幹線道路整備事業</td> <td data-bbox="506 400 1108 644"> <ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々世良田線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	主 な 事 業	事 業 概 要	治山・治水事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川流域調節池整備事業</li> <li>(利根川支川) 早川 火山砂防事業</li> <li>(略)</li> </ul>	幹線道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々世良田線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul>	<p>7 新市における群馬県事業の推進</p> <table border="1" data-bbox="1182 204 2103 644"> <thead> <tr> <th data-bbox="1182 204 1491 256">主 な 事 業</th> <th data-bbox="1491 204 2103 256">事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1182 256 1491 400">治山・治水事業</td> <td data-bbox="1491 256 2103 400"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川河川改修関連調整池事業</li> <li>一級河川早川の河川改修</li> <li>(略)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 400 1491 644">幹線道路整備事業</td> <td data-bbox="1491 400 2103 644"> <ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道(仮称)藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々尾島線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	主 な 事 業	事 業 概 要	治山・治水事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川河川改修関連調整池事業</li> <li>一級河川早川の河川改修</li> <li>(略)</li> </ul>	幹線道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道(仮称)藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々尾島線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul>
主 な 事 業	事 業 概 要													
治山・治水事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川流域調節池整備事業</li> <li>(利根川支川) 早川 火山砂防事業</li> <li>(略)</li> </ul>													
幹線道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道太田藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々世良田線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul>													
主 な 事 業	事 業 概 要													
治山・治水事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川石田川河川改修関連調整池事業</li> <li>一級河川早川の河川改修</li> <li>(略)</li> </ul>													
幹線道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道(仮称)藪塚インターチェンジアクセス道路の整備</li> <li>(略)</li> <li>主要地方道大間々尾島線鹿交差点の改良</li> <li>(略)</li> </ul>													
38	<p>V 財政計画</p> <p>財政計画は、健全な財政運営を行うことを基本として、平成17年度から平成26年度までの10年間について過去の実績等を基に推計し、普通会計の歳入・歳出を項目ごとに作成しています。</p> <p><u>なお、「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律」の施行により、新たに平成27年度から平成32年度までの6年間を追加し、平成17年度から平成25年度までを決算数値に置き換えました。平成27年度から平成32年度については、過去の実績を基に改めて推計を行いました。</u></p> <p>1 財政計画</p> <p>(1) 歳入</p> <p>①地方税</p> <p><u>地方税については、過去の決算額の推移や今後の経済情勢及び将来の生産年齢人口などを勘案し推計しています。</u></p>	<p>V 財政計画</p> <p>財政計画は、健全な財政運営を行うことを基本として、平成17年度から平成26年度までの10年間について過去の実績等を基に推計し、普通会計の歳入・歳出を項目ごとに作成しています。</p> <p>1 財政計画</p> <p>(1) 歳入</p> <p>①地方税</p> <p><u>現行の制度を基本として、住民税個人分については将来の生産年齢人口見通しを踏まえ推計しています。住民税法人分の法人税割は、平成12年度からの3か年平均額を基準とし、また、その他については平成14年度決算額を基準に見込んでいます。</u></p>												

	<p>②地方交付税</p> <p><u>普通交付税については平成28年度以降の段階的縮減措置を加味し、現行制度に基づく交付税算定の見直しを加味しています。また、合併特例債などの元利償還金に係る交付税措置を見込んでいます。</u></p>	<p>②地方交付税</p> <p><u>普通交付税通常分については、平成15年度決算見込額を基に平成18年度までは年率6%、平成19年度以降は年率4%で減少するものとして推計しています。また、合併による普通交付税の算定特例（合併算定替）、合併直後の臨時的な経費に係る財政措置（合併補正）、合併特例債等に係る元利償還金に対する交付税措置を考慮しています。</u></p>
	<p>③国庫支出金・県支出金</p> <p><u>経常的な国・県支出金については、過去の決算額より推計し、新市建設計画に伴う国・県支出金を勘案して推計しています。</u></p>	<p>③国庫支出金・県支出金</p> <p><u>平成15年度決算見込額を基準として、生活保護費国庫負担金のほか、合併市町村補助金を見込んでいます。</u></p>
	<p>④地方債</p> <p><u>新市建設計画に伴う合併特例債に加えて、現行の地方財政制度を基に、臨時財政対策債等を見込んでいます。</u></p>	<p>④地方債</p> <p><u>新市建設計画事業に伴う合併特例債に加えて、現行の地方財政制度を基に、臨時財政対策債、減税補てん債を見込んでいます。</u></p>
	<p>⑤その他</p> <p><u>地方譲与税、各種交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入等については、現行制度や過去の実績などから推計しています。</u></p>	<p>⑤その他</p> <p><u>地方譲与税、各種交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入等については、過去の実績や将来人口見通し等を踏まえて見込んでいます。</u></p>
39	<p>(2)歳出</p> <p>①人件費</p> <p><u>平成26年度を基準として推計しています。</u></p>	<p>(2)歳出</p> <p>①人件費</p> <p><u>合併に伴う特別職の減少に加え、合併後の退職者の補充を抑制することによる一般職の減少を見込んで推計しています。また、議会議員数は新設合併の在任特例を適用させた場合を前提に推計しています。</u></p>
	<p>②物件費</p> <p><u>内部管理経費については抑制し、事務の効率化及び社会保障関係経費とする委託料の充実分などを見込んで推計しています。</u></p>	<p>②物件費</p> <p><u>委託費を除いた物件費について、合併後の事務事業統合による経費減少を見込んでいます。</u></p>

<p>③扶助費 過去の決算額の推移や今後の人口推計などから推計しています。</p>	<p>③扶助費 平成15年度決算見込額を基に合併後の生活保護費の増加や少子高齢化の進行等に伴う影響を見込んでいます。 社会福祉費については将来人口見通し、老人福祉費については老年人口の将来見通しを、また、児童福祉費については年少人口の将来見通しを踏まえ推計しています。</p>
<p>④投資的経費 新市建設計画に位置付ける事業費及びその他の事業費を見込んで推計しています。</p>	<p>④投資的経費 新市建設計画に位置付ける事業費及びその他の事業費を見込んでいます。</p>
<p>⑤公債費 合併前の起債に対する償還予定額と、新市建設計画に伴う合併特例債などの起債に係る償還見込額を推計しています。</p>	<p>⑤公債費 合併前の起債に対する償還予定額と、合併特例債など合併後の起債に係る償還見込額を推計しています。</p>
<p>⑥積立金 基金利子積立金を見込み推計しています。</p>	<p>⑥積立金 合併市町村振興基金の積立てを見込んでいます。</p>
<p>⑦繰出金 国民健康保険会計、介護保険会計、後期高齢者会計、下水道会計等への繰出を過去の決算額推移より推計しています。</p>	<p>⑦繰出金 国民健康保険会計、介護保険会計、老人保健会計、下水道会計等への繰出を見込んでいます。介護保険会計、老人保健会計については老年人口の将来見通し、国民健康保険会計については生産年齢人口と老年人口の将来見通しを踏まえ推計しています。</p>

## 【歳入】

(単位：百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
地方税	5,697	5,802	6,375	6,378	6,149	6,081	6,193	6,065	6,101	5,968
地方譲与税	441	644	244	235	220	214	209	195	186	179
交付金	889	869	760	715	690	680	640	612	643	638
地方交付税	3,157	3,538	3,329	3,600	3,569	3,980	4,352	4,381	4,471	4,437
分担金及び負担金	191	217	217	236	296	291	298	322	316	289
使用料及び手数料	542	479	453	445	406	377	319	307	303	278
国庫支出金	687	1,131	1,466	1,311	2,754	2,321	2,047	1,923	2,254	2,400
県支出金	1,048	958	1,019	1,019	1,381	1,403	1,389	1,369	1,381	3,128
財産収入	620	401	512	478	482	452	363	351	378	417
繰入金・繰越金	4,776	1,944	1,245	1,610	1,766	852	762	404	485	1,545
諸収入・その他	517	557	380	370	616	627	657	661	624	510
地方債	999	719	1,522	1,626	1,253	1,665	1,405	1,694	1,717	2,272
歳入合計	19,564	17,259	17,522	18,023	19,582	18,943	18,634	18,284	18,859	22,061

(単位：百万円)

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
地方税	5,907	5,824	5,813	5,723	5,713	5,712
地方譲与税	179	179	179	179	179	179
交付金	879	866	866	866	866	866
地方交付税	4,056	4,042	3,830	3,753	3,670	3,624
分担金及び負担金	288	288	288	288	288	288
使用料及び手数料	277	277	277	277	277	277
国庫支出金	2,027	2,054	2,039	2,006	2,004	1,996
県支出金	1,337	1,328	1,325	1,313	1,327	1,312
財産収入	410	410	410	410	410	410
繰入金・繰越金	490	500	742	987	1,246	1,501
諸収入・その他	699	699	699	699	699	699
地方債	2,295	2,026	1,951	1,951	1,951	1,951
歳入合計	18,844	18,493	18,419	18,452	18,630	18,815

## 【歳入】

(単位：百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
地方税	5,609	5,601	5,593	5,585	5,578	5,570	5,556	5,543	5,529	5,502
地方譲与税	253	253	253	253	253	253	253	253	253	253
交付金	804	803	803	803	802	802	801	799	798	796
地方交付税	3,490	3,210	3,123	3,137	3,189	3,112	3,126	3,143	3,162	3,182
分担金及び負担金	160	161	161	162	162	162	163	163	163	164
使用料及び手数料	459	460	461	463	464	465	466	467	468	470
国庫支出金	1,091	1,091	1,091	970	970	970	968	966	964	960
県支出金	1,265	1,265	1,264	1,264	1,264	1,264	1,263	1,262	1,260	1,258
財産収入	458	458	458	458	458	458	458	458	458	458
繰入金・繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸収入・その他	619	619	619	619	619	619	619	619	619	619
地方債	2,780	2,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780
歳入合計	16,988	16,701	15,606	15,494	15,539	15,455	15,453	15,453	15,454	15,442

## 【歳出】

(単位：百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費	3,349	3,316	3,219	3,187	3,155	3,122	3,090	3,058	3,026	2,993
物件費	2,911	2,833	2,755	2,677	2,599	2,599	2,599	2,599	2,599	2,599
維持補修費	156	156	156	156	156	156	156	156	156	156
扶助費	1,810	1,818	1,826	1,834	1,842	1,850	1,854	1,859	1,863	1,872
補助費等	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257
投資的経費	2,507	2,289	2,457	2,237	2,276	2,125	2,078	2,089	2,045	2,019
公債費	1,465	1,480	1,418	1,609	1,698	1,771	1,817	1,806	1,852	1,836
積立金	1,053	1,053	0	0	0	0	0	0	0	0
投資・出資・貸付金	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
繰出金	1,308	1,327	1,346	1,365	1,384	1,403	1,430	1,457	1,484	1,538
歳出合計	16,988	16,701	15,606	15,494	15,539	15,455	15,453	15,453	15,454	15,442

## 【歳出】

(単位：百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費	3,318	3,101	3,227	3,226	3,185	3,177	3,221	3,066	2,927	3,138
物件費	3,364	2,470	2,462	2,400	2,605	2,721	2,567	2,446	2,483	3,005
維持補修費	148	40	100	54	68	44	49	52	73	80
扶助費	1,906	2,580	2,763	2,844	3,017	3,790	3,926	3,999	4,016	4,295
補助費等	1,900	2,129	2,287	2,106	3,199	2,056	1,942	1,988	2,109	4,842
投資の経費	2,401	1,237	2,438	2,515	2,755	2,257	1,627	1,641	2,035	2,963
公債費	1,440	1,460	1,369	1,400	1,588	1,419	1,522	1,463	1,486	1,488
積立金	1,668	577	238	103	112	327	733	562	136	322
投資・出資・貸付金	118	85	83	209	329	316	335	286	205	209
繰出金	1,772	1,670	1,639	2,113	1,670	1,806	1,666	1,815	2,137	1,719
歳出合計	18,035	15,349	16,606	16,970	18,528	17,913	17,588	17,318	17,607	22,061

(単位：百万円)

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
人件費	3,169	3,157	3,149	3,101	3,115	3,086
物件費	2,691	2,692	2,693	2,694	2,695	2,696
維持補修費	77	78	79	80	80	81
扶助費	4,333	4,345	4,361	4,382	4,409	4,440
補助費等	2,219	2,051	1,960	1,960	1,961	1,961
投資の経費	2,921	2,789	2,776	2,694	2,693	2,689
公債費	1,494	1,561	1,538	1,633	1,722	1,857
積立金	40	40	40	40	40	40
投資・出資・貸付金	200	200	200	200	200	200
繰出金	1,700	1,580	1,623	1,668	1,715	1,765
歳出合計	18,844	18,493	18,419	18,452	18,630	18,815

裏表紙	<p>笠懸町・大間々町・東村合併協議会</p> <p><u>みどり市</u></p> <p>〒379-2395</p> <p>群馬県<u>みどり市</u>笠懸町鹿 2952 番地</p> <p>TEL : 0277-76-0962 FAX : 0277-76-2449</p> <p>ホームページ : <a href="http://www.city.midori.gunma.jp/">http://www.city.midori.gunma.jp/</a></p> <p>Eメール : <a href="mailto:kikaku@city.midori.gunma.jp">kikaku@city.midori.gunma.jp</a></p>	<p>笠懸町・大間々町・東村合併協議会</p> <p>〒379-2395</p> <p>群馬県<u>新田郡</u>笠懸町大字鹿 2952 番地</p> <p>TEL : 0277-76-1840 FAX : 0277-76-2449</p> <p>ホームページ : <a href="http://www.town.kasakake.gunma.jp/gappei21/">http://www.town.kasakake.gunma.jp/gappei21/</a></p> <p>Eメール : <a href="mailto:gappeikyougikai@town.kasakake.gunma.jp">gappeikyougikai@town.kasakake.gunma.jp</a></p>
-----	---	---